

第5回（2001年度）全国研究大会案内

大会テーマ： Language Testing Code of Practice for the 21st Century

(21世紀における言語テストの実施規範)

会 場： 東京経済大学 6号館 〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34
JR 中央線 国分寺駅南口より徒歩約 10 分

日 程： 2001年10月28日（日）8:30～18:00

午 前 研究発表Ⅰ（発表30分・質疑10分）

基調講演「言語教育と言語テストの接点」 講師 浅野 博（東洋学園大学）

午 後 研究発表Ⅱ（発表30分・質疑10分）

パネルディスカッション「言語テスト実施に関わる諸問題：Code of Practice の観点から」

総 会

懇親会

参 加 費： 会員 1,000 円、一般 3,000 円

* 事前の申し込みは必要ありません。

10月27日（土）

16:00～17:30 理事会・委員会（6号館7階中会議室4）

10月28日（日）

8:30～ 受 付（6号館1階）

8:50～9:00 開会の挨拶（7階大会議室） 総合司会 中村 優治（東京経済大学）

会 長 大友 賢二（常磐大学）

9:00～10:20 研究発表（発表30分，質疑10分）Ⅰ9:00～9:40，Ⅱ9:40～10:20

第1室（7階中会議室2） 司会 Elizabeth Heiser（関西外国語大学）

発表Ⅰ Peer, Self-and Instructor Assessment in EFL Speech Classes: Relationships and Validity

Tomoko Fujita（Rikkyo University）

発表 II Feasibility of Using Learner-Perceived Sentence Difficulty as a Reading Ability Measure

Shizuka Tetsuhito (Institute of Foreign Language and Education Research, Kansai University)

第2室 (7階中会議室3) 司会 法月 健 (静岡産業大学)

発表 I 「日本人学習者用英語力簡易測定テスト V : 中学生が受験した場合の妥当性の検証と今後の良案の提示」

片桐 一彦 (麗澤大学)

発表 II 「英語コミュニケーション能力評価の波及効果と今後の方向性」

島谷 浩 (熊本大学)

10:20~10:40 休憩

10:40~12:30 基調講演 (7階大会議室) 司会 木下 正義 (福岡国際大学)

紹介 会長 大友 賢二 (常磐大学)

「言語教育と言語テストの接点」

講師 浅野 博 (東洋学園大学)

12:30~13:30 昼食 (役員会)

13:30~14:10 研究発表 (発表 30分, 質疑 10分)

第1室 (7階中会議室2) 司会 清川 英男 (和洋女子大学)

「ポートフォリオ・アセスメント」

村田 美子 (関西外国語大学)

第2室 (7階中会議室3) 司会 島谷 浩 (熊本大学)

「英作文の評価：ラッシュ(FACETS)モデルによる評価者、学生、評価項目及び評価スケールの分析」

中村 優治 (東京経済大学)

14:10~14:20 休憩

14:20~15:50 パネルディスカッション (7階大会議室)

司会・発表 Randolph Thrasher (国際基督教大学)

Toward a JLTA Code of Testing Practice

発表者: Steve Ross (関西学院大学)

小山 由紀江 (長岡技術科学大学)

渡部 良典 (秋田大学)

15:50~16:20 総会 (7階大会議室) 司会 中村 優治 (東京経済大学)
議長選出

報告 中村 洋一 (常磐大学)

16:20~16:30 閉会の挨拶 (7階大会議室) 副会長 Randolph Thrasher (国際基督教
大学)

16:30~18:00 懇親会 (7階ホール) 司会 塩川 春彦 (北海学園大学)